FAX 送信先【茨城県教育庁総務企画部生涯学習課振興担当宛】　029－301－5339

第２回大会　関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会　【参加申込書】

※　個人情報は，本大会に関すること以外の目的では使用いたしません。また，当日の様子（写真，動画等）につきましては，ホームページ（SNS を含む）や報告書等で使用することをご了承ください。

ふりがな			性　別
氏　　名			男　・　女
所　　属		役職	
連絡先	電　　話：		
	電子メール：		

大会の出欠等　※　希望する事項に○をつけてください。

第１日目１０月１５日（土）	大学生協の利用（昼食）	希望あり　・　希望なし					
	事例発表	参加　・　不参加					
		①13:50～14:35	会場A	B	C	D	E
		②14:45～15:30	会場A	B	C	D	E
		③15:50～16:35	会場A	B	C	D	E
		④16:45～17:30	会場A	B	C	D	E
※　大学周辺には，飲食店等が少ないので，ご承知ください。	情報交換会	参加　・　不参加 **※　情報交換会は，会費制です。【会費：3,000 円】**					
第２日目１０月１６日（日）	特別講演	参加　・　不参加					

※　チラシ等のブース出店を希望する団体については，個別にご連絡ください。

※　宿泊については，個人で御対応ください。

会場案内

申込方法

●申込締切　　**平成２８年９月３０日（金）**

●参加方法　　参加申込書を送付してください。（メール・ＦＡＸ）

●申込み・問合せ先

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課振興担当

〒310-8588　水戸市笠原町９７８番６

Ｔ　Ｅ　Ｌ　　０２９－３０１－５３１８

Ｆ　Ａ　Ｘ　　０２９－３０１－５３３９

電子メール　　shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp

茨城大学水戸キャンパス　　（〒310-8512 水戸市文京 2-1-1）

JR 水戸駅（北口）バスターミナル７番乗り場から茨城交通バス「茨大行き（栄町経由）」に乗車，「茨大前」で下車。（バス乗車時間は約 30 分）　**※できるだけ公共交通機関を御利用ください。**

関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会　第２回

大会テーマ：今こそ社会教育の底力を！

日　時　平成28年10月15日(土)～16日(日)

会　場　茨城大学
〒310-8512
茨城県水戸市文京 2-1-1

特別講演の講師は，
明石　要一
先生です！

参加費　無　料

対　象　**どなたでも参加できます！**

・スーツでの参加は，できるだけご遠慮ください！ノーネクタイ普段着での参加をお願いしております！

・**名札・名刺**の持参をおすすめします！

11月1日
11月1日は いばらき教育の日
11月は いばらき教育月間

大会の最新情報は facebook ページで！　関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会

主催　茨城県教育委員会　茨城大学社会連携センター
　　茨城県生涯学習・社会教育研究会
主管　関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員会
後援　福島県教育委員会　栃木県教育委員会　群馬県教育委員会
　　埼玉県教育委員会　千葉県教育委員会　神奈川県教育委員会
　　国立青少年教育振興機構
　　茨城県社会教育委員連絡協議会　茨城県公民館連絡協議会
協力　国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
　　茨城県教育庁社会教育主事会

昨年度，文部科学省からの委託を受け「学びによる地域力活性化プログラム普及・啓発事業」として，第１回関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会を開催いたしました。のべ482名の参加者を迎え，盛大に開催することができました。関係者の皆様には心よりお礼を申し上げます。

現在，わが国の地域は，少子高齢化や人口減少によって過疎化が一段と進み，限界集落化から将来の地域消滅への不安が高まるなど，解決困難な多くの地域課題を抱えています。

そうした危機感を背景として，国でも「地方創生」や「一億総活躍社会」のスローガンのもとに，さまざまな政策や施策を展開しております。たとえば教育のフィールドでは，昨年度出された３つの中教審答申，中でも「地域学校協働答申」と，それを受けての「次世代の学校・地域創生プラン（馳プラン）」，さらに教育再生実行本部の提言等では，「ひとづくり」と「まちづくり」の循環，学校教育と社会教育のこれまで以上の連携・協働の必要性が繰り返し強調されております。これは，地域をめぐる危機が深まる中で，それだけ社会教育の果たすべき役割への期待が高まっていることの表れでもあると言えます。まさしく，社会教育関係者が待ち望んでいた出番であると思います。

そうした今，重要なことは，私達がそれぞれの地域で個々に実践を展開することだけでよしとするのではなく，県域を越えた幅広いネットワークを構築し，情報を交換し合い，学び合い，手を取り合って連携・連帯を強め，総力で地域課題の解決に取り組むことであると思われます。今，中国・四国・九州地区で続いてきた実践研究交流会が全国に広がりを見せており，関東においても関係団体・機関等の協力により，本大会の継続開催に向けた準備が進んでいるところです。

今大会は，20の事例発表と情報交換会，さらに青少年教育・社会教育の第一人者としてご活躍の国立青少年教育振興機構の明石要一センター長（千葉敬愛短期大学学長）による講演会と盛りだくさんの内容を予定しております。特に明石先生は，先日のテレビ・新聞等のニュースにおいて，家庭の教育費支出や親がしつけに熱心かどうかが，日本の青少年の自己肯定感に強い影響を及ぼすようになってきていること，つまり，経済格差が学力だけでなく青少年の気持ちの格差にもつながるおそれがあると調査に基づいて指摘し，具体的な提案をしておられます。ご期待頂きたいと思います。

この集まりを地域でがんばる大勢の仲間達の有意義な交流の場にできるよう，たくさんの方々のご参加を心からお待ちしております。

関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会実行委員長
茨城大学名誉教授　菊　池　龍三郎

第１日目 10／15（土）

オープニング１３：００～　（教育学部棟）

事例発表　１３：５０～（教育学部各教室）

① 13:50 ～ 14:35
② 14:45 ～ 15:30
③ 15:50 ～ 16:35
④ 16:45 ～ 17:30

※　発表テーマ，発表者等については，変更になる場合があります。

【学校・家庭・地域の連携】

	発表テーマ		発表者
会場A	①　こうすればできる！学校と地域をつなげるひと工夫 ～地域連携重点推進モデル事業の実践から～	栃木	市貝町立市貝小学校 教諭　大根田　裕一
	②　地域とともに伸びる学校をめざして ～学校から地域へ　はじめの一歩～	茨城	笠間市立南小学校 教諭　永田　仁一
	③　学校・家庭・地域の連携協力による学力向上推進事業 ～地域運営委員会による「学力アップ大作戦」～	群馬	高崎市教育委員会学校教育課 指導主事　横谷　隆
	④　元気な学校をつくる朝霞二小「学校応援団」 ～楽しく　無理なく　身近なことから～	埼玉	朝霞市立朝霞第二小学校 校長　加藤　美幸

【家庭教育支援】

	発表テーマ		発表者
会場B	①　地域との連携協働による家庭教育支援について ～坂東市の取組を通して～	茨城	坂東市教育委員会生涯学習課 社会教育主事　向田　伸一
	②　栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会の取組	栃木	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会　会長　伊吹　桂子 副会長　松岡　あゆみ
	③　家庭教育を支援する「親育を考える会」の取組	千葉	親育を考える会 代表　花香　健司
	④　地域での学びの場づくり ～家庭教育学級をはじめとする多様な取組～	埼玉	NPO 法人子育てサポーター・チャオ 代表　近澤　恵美子

【地域課題の解決に向けた取組①】

	発表テーマ		発表者
会場C	①　茨城県立茨城東高等学校「We are 涸沼っ子！」のＥＣＯ活動 ～学び×地元×つながり×広がり～	茨城	茨城県立茨城東高等学校生徒会長 三森洸喜 教諭　郡司美知子 新堀洋子 佐藤美波
	②　独自の民営化制度に基づく公民館市民カレッジの受託について	千葉	我孫子市公民館　館長　丸山　正晃 NPO 法人ふれあい塾あびこ 理事長　多田　正志
	③　男女共同参画推進フォーラム ～学びと実践の場づくり～	埼玉	国立女性教育会館事業課 専門職員　佐伯　加寿美
	④　誰でも始められるふるさと還元！ 茨城県の魅力を「人の魅力」を通して世界に発信！	東京／茨城	茨城県出身の女性を応援するマガジンサイト・フリーペーパー茨女 代表　川井　真裕美

【地域課題の解決に向けた取組②】

	発表テーマ		発表者
会場D	①　地域活性化事業スポーツプロジェクト ～県西地区にＪリーグチームを～	茨城	特定非営利活動法人 境スポーツクラブ　理事長　倉持　貢
	②　今こそ，地域に青少年の力を ～池ノ上青少年会館の取組から～	東京	世田谷区教育委員会事務局 社会教育主事　吉田　周平
	③　DAISY ってなんだろう？ ～一人ひとりのニーズにあった学習支援のために～	神奈川	特定非営利活動法人やまゆり 副理事長　内田　昌子 認定 NPO 法人藤沢市市民活動推進連絡会 理　事　手塚　明美
	④　街づくりと社会教育	福島	株式会社　楽市白河　長倉　智和

【青少年教育】

	発表テーマ		発表者
会場E	①　つながる！ひろがる！たかまる!!　いばらきＡＳＥイニシアチブ ～よりよい集団・組織づくりは，関係づくりからはじまる～	茨城	茨城県立さしま少年自然の家 社会教育主事　山崎　英男
	②　セルフディスカバリーキャンプ ～自然体験を通じてネット依存解消を図る支援プログラムについて～	群馬	国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職　根本　純一
	③　地域の教育資源を活用した事業展開事例について ～チャレンジジオキャンプ，こどもの未来～	福島	国立磐梯青少年交流の家 企画指導専門職　大髙　靖行
	④　地域力を生かした青少年教育への取組 ～なすかしサマーグレートキャンプ～	福島	国立那須甲子青少年自然の家 企画指導専門職　吉田　淳也　志賀　亮太

情報交換会＆第２回大会交流会　１８：１５～　（茨城大学生協食堂）

第２日目 10／16（日）

昼食等については，第１日目は，大学生協がオープンしておりますので，御利用ください。（11:00～13:30）　当日は混雑が予想されますので，ご了承ください。

時間	内容	会場
9:30～11:00	特別講演　『社会教育に問う！今，社会教育にできることとは』 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター長 千葉敬愛短期大学　学長　明石　要一　先生	教育学部棟
11:00～11:30	全体会（シェアリング：関係者間での出会いと対話）	

クロージングトークセッション　１１：３０～　（教育学部棟）

コーディネーター　茨城大学教育学部特任准教授　長谷川　幸介
登　壇　者　茨城大学名誉教授　菊池　龍三郎
NPO 法人ひと・まちねっとわーく理事長　池田　馨

※　日程や会場（教室等）については，当日変更になることもございますので，ご了承ください。